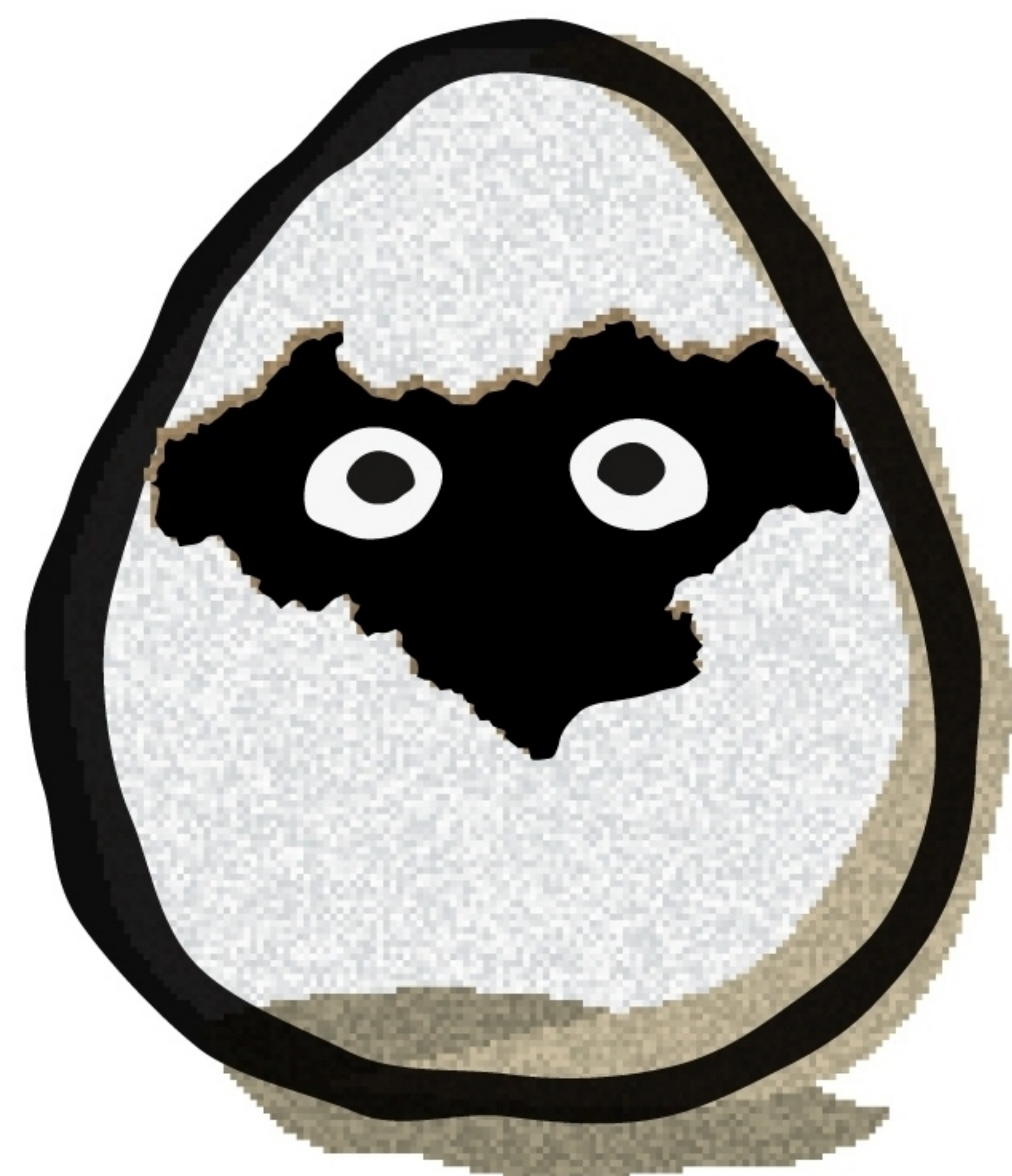


デザインコンセプト



卵＝創生

キャラクター構築

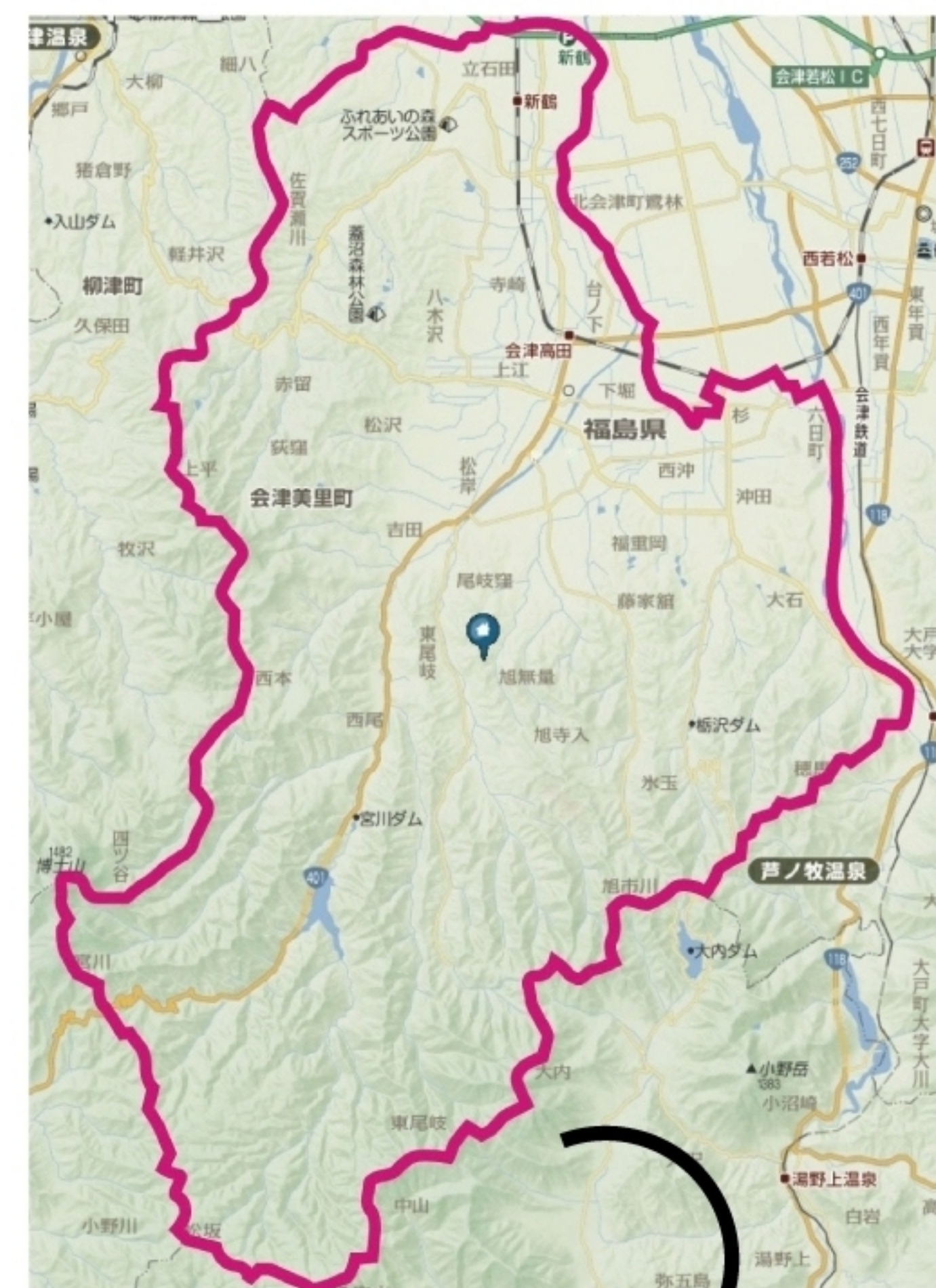
キャラクターは、合併五周年を迎える会津美里町の創生をイメージし、「卵」を図案化したものです。卵から何かが出てくるような姿は、新しい町になって五年目で芽（め）が出てきて、さらに数年後には芽が育っていくようなワクワク感、そういった希望・期待を象徴しています。目のまわりにある黒いシルエットは、会津美里町のかたち（境界線）そのものを表しています。

他の自治体にあまりみられないパターンにより、対外的なPRでも有効かつ差別化が図られます。また、日本人に馴染みやすい達磨や起き上がり小法師のイメージがあり、グッズ展開も容易なシンプルかつ特徴的な形態に仕上げました。

キャラクター名称

本キャラクターは目に特徴がありますが、会津美里町の生まれと言われる天海大僧正おくりどうの諡号は慈眼大師です。その慈眼大師の慈眼（慈悲の心をもって世の中を見る目の意味）に是非あやかりたいと思いました。

そういった意味や、対外的な分かりやすさを考えて、キャラクターの名称を「あいづじげん」として名づけました。



町の境界線



あいづじげん
- AIZUJIGEN -



歴史ブームも後押し。